

令和8年度 学力向上アクションプラン

学校番号

205

江戸川区立松江第三中学校

「全国学力・学習状況調査」平均正答率東京都との差				「江戸川区学力調査」平均正答率全国との差						
学年	第3学年			学年	第1学年			第2学年		
年度	国語	算数	合計	年度	国語	数学	英語	国語	数学	GTEC
令和12年度の目標				令和12年度の目標						
令和11年度の目標				令和11年度の目標						
令和10年度の目標				令和10年度の目標						
令和9年度の目標				令和9年度の目標						
令和8年度の目標	±0	±0	±0	令和8年度の目標	±0	±0	±0	±0	±0	±0
令和7年度の結果	-4	-10	-14	令和7年度の結果	-1.1	-1.5	+0.9	-7.8	-3.1	-5.8
令和6年度の結果	-11	-10	-21	令和6年度の結果	-7	-6.8	-7.7	-3.9	-0.1	-
令和5年度の結果	-3	-1	-4	令和5年度の結果						

年度	令和7年度	令和8年度			
内容	成果と課題	目標		目標達成に向けた取組	
学校全体	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 前年度に比べてAB層が増え、CD層が減ってきている。学校全体として授業規律が守られる風土ができあがってきており、落ち着いた環境で学習できるようになってきたことが大きいと考える。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> どの教科も、基礎的な学力の定着に課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、授業規律が徹底されるよう指導する。 基礎的な学力の定着を図る。 指導と評価の一体化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 江戸川っ子Study Week!の活用 YomuYomuワークシートの活用 めあてと振り返りを意識した授業改善 アントレプレナーシップ教育の導入 		
第1学年	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 英語では、全国平均を超える結果となり、他教科も全国平均と大きな差は見られない。 授業規律が守られており、落ち着いた環境で学習できていることが大きいと考える。学習に対する意欲や姿勢は、学年全体で見ても良好である。 応用問題の正答率は国語、英語とも全国平均を上回っている。数学も全国平均との差は小さい。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 応用問題の正答率が良好である一方で、基礎問題の正答率は全国よりマイナスになっている(国語、数学)。国語では漢字の知識や語彙、数学では計算や数学に関する知識・技能の定着に課題が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業規律の徹底を一層図る。 基礎的な学力の定着を図る。特に、漢字の知識や語彙を広げること、計算能力の向上や数学に関する知識・技能の確実な定着を目指す。 自分の考えをもったり、それを発表したりすることへの苦手意識を低減させるような学習活動を工夫していく。 	<ul style="list-style-type: none"> 江戸川っ子Study Week!の活用し、基礎的な知識・技能を確実な定着を図る。 YomuYomuワークシートの活用し、読解力の向上を図る。 めあてと振り返りを意識した授業改善を図り、付けたい力が確実に育成されるようにする。 アントレプレナーシップ教育の視点で授業改善を図り、自分自身の考えを発表したり、課題を発見し、解決方法を提案したりすることができるようにする。 		
第2学年	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 数学、英語では、全国平均との差が大きく縮む結果となった。CD層が大幅に減り、AB層が厚くなっている。 授業規律が守られるようになり、落ち着いた環境で学習できるようになったことが要因の一つであると考え。 定期考査前の学習に計画的に取り組むなど、自分の学習への姿勢を見直そうとする生徒が増えたことも大きいと考える。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 国語では、全国平均との差が広がる結果となった。語彙を増やすこと、漢字等、国語の知識・技能の確実な定着を図ることが第一の課題である。また、話すこと・聞くこと、書くこと、読むこと、すべての領域にわたり、自分の考えをもったり、それを発表したりすることに苦手意識をもつ生徒が多いことも課題である。 数学、英語でも、基礎的な学力の定着に課題がある生徒は依然多い。 江戸川っ子Study Week!やICT機器による学習などを活用し、各教科の基礎的な学力の定着を図っていく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業規律の徹底を一層図る。 基礎的な学力の定着を図る。特に、漢字の知識や語彙を広げること、計算能力の向上や数学に関する知識・技能の確実な定着を目指す。 自分の考えをもったり、それを発表したりすることへの苦手意識を低減させるような学習活動を工夫していく。 	<ul style="list-style-type: none"> 江戸川っ子Study Week!の活用し、基礎的な知識・技能を確実な定着を図る。 YomuYomuワークシートの活用し、読解力の向上を図る。 めあてと振り返りを意識した授業改善を図り、付けたい力が確実に育成されるようにする。 アントレプレナーシップ教育の視点で授業改善を図り、自分自身の考えを発表したり、課題を発見し、解決方法を提案したりすることができるようにする。 		
第3学年	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> AB層の割合は、前年度(令和6年度)よりも増加した。同時に、CD層は、前年度よりも大幅に減少する結果となった。 改善した要因の一つは、授業規律の徹底を図ったことである。学習に集中できる環境を整えたことともに、クラスに互いを尊重し合う風土が根付いたことで、活発な意見交流が生まれるようになり、充実した学習指導を展開することができるようになった。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 国語、数学ともに都平均とはかなりの差がある。両教科とも、まずは基礎的な学力の定着が課題である。国語では漢字や語彙等の定着、数学では計算や数学に関する知識・技能の定着が進むよう、授業を工夫していく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業規律の徹底を一層図る。 基礎的な学力の定着を図る。特に、漢字の知識や語彙を広げること、計算能力の向上や数学に関する知識・技能の確実な定着を目指す。 自分の考えをもったり、それを発表したりすることへの苦手意識を低減させるような学習活動を工夫していく。 	<ul style="list-style-type: none"> 江戸川っ子Study Week!の活用し、基礎的な知識・技能を確実な定着を図る。 YomuYomuワークシートの活用し、読解力の向上を図る。 めあてと振り返りを意識した授業改善を図り、付けたい力が確実に育成されるようにする。 アントレプレナーシップ教育の視点で授業改善を図り、自分自身の考えを発表したり、課題を発見し、解決方法を提案したりすることができるようにする。 		